

令和6年度

事業実績報告

社会福祉法人 信濃川令終会

目 次

第1 施設の概要	1
----------	---

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡 南 の 郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷	5
② ショートステイ岡南	11
③ デイサービスセンター岡南	14
④ グループホームこうなん	17
⑤ 居宅介護支援事業所岡南	20
⑥ ケアハウス岡南	22

(2) せ っ た や の 郷

① デイサービスセンターせったや	26
② グループホームせったや	29

第3 苦情受付状況	31
-----------	----

第4 研修の状況	33
----------	----

第1 施設の概要

1 経営主体

名 称	社会福祉法人 信濃川令終会
所 在 地	新潟県長岡市渡沢町字早田53番地
理 事 長	阿部 隆夫
認可年月日	平成12年7月25日

2 施設の名称等

(1) 岡南の郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
特別養護老人ホーム岡南の郷	介護老人福祉施設	82名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200897
ショートステイ岡南	短期入所生活介護	11名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200905
デイサービスセンター岡南	通所介護	29名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200889
グループホームこうなん	認知症対応型共同生活介護	18名	平成14年6月1日	令和2年6月1日	1570201077
共用型デイサービスこうなん	共用型認知症対応型通所介護	6名	平成30年8月1日	令和6年8月1日	1570201077
居宅介護支援事業所岡南	居宅介護支援		平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200863
ケアハウス岡南	軽費老人ホーム ケアハウス	15名	平成13年4月9日		

(2) せったやの郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
デイサービスセンターせったや	通所介護	25名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1570202810
グループホームせったや	認知症対応型共同生活介護	9名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1590200224
共用型デイサービスせったや	共用型認知症対応型通所介護	3名	平成30年8月1日	令和6年8月1日	1590200224

3 施設規模

(1) 敷地面積

- | | |
|----------|--------------------------|
| ① 岡南の郷 | 12,770.13 m ² |
| ② せったやの郷 | 1,372.22 m ² |

(2) 建物面積

- | | | |
|----------------------------------|------|-------------------------|
| ① 特別養護老人ホーム岡南の郷(ケアハウス、デイサービス等含む) | | |
| 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 | 延べ面積 | 6,446.24 m ² |
| ② グループホームこうなん(2ユニット) | | |
| 1 木造2階建 | 延べ面積 | 358.73 m ² |
| 2 木造2階建 | 延べ面積 | 372.43 m ² |
| ③ せったやの郷(デイサービス、グループホーム) | | |
| 鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建 | 延べ面積 | 711.26 m ² |

4 設備内容

(1) 岡南の郷

施設名		居室	設備
特別養護老人ホーム		個室 46 4人部屋 9	サービスステーション、事務室、相談室、洗濯室、宿直室、調理室、食堂、特別浴室、静養室、医務室、機能訓練室
ショートステイ		個室 7 4人部屋 1	
デイサービスセンター			事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム (2ユニット)	1	個室 9	居間、食堂、台所、浴室
	2	個室 9	居間、食堂、台所、浴室
ケアハウス		個室 15	事務室、食堂、一般浴室、相談室、洗濯室、図書コーナー、レストコーナー

(2) せったやの郷

施設名	居室	設備
デイサービスセンター		事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム	個室 9	居間、食堂、台所、浴室

5 協力病院

新潟厚生連 長岡中央総合病院
医療法人誠心会 吉田病院

6 嘱託医

江部 佑輔

7 職員数

令和7年3月31日 現在

事業所名		事務長 施設長	副事務長 副施設長	管理者	生活相談員		看護職員 保健師			機能訓練指導員			介護職員			介護支援専門員 計画作成担当者	事務員 栄養士			その他		計
		正	正	正	正	臨時	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	正	臨時	パート	臨時	パート	
法人本部		2															5			2	8	17
岡 南 の 郷	特別養護老人ホーム岡南の郷 ショートステイ岡南	1	1	(兼1)	2	(兼1)	3	1	3	1		1	37	2	5	1					1	59
	デイサービスセンター岡南	(兼1)		1	1	(兼5)	1		4	1	(兼1)	(兼4)	7	1	2						7	25
	グループホームこうなん	(兼1)	1	1				(兼1)					11		2	(兼2)					1	16
	居宅介護支援事業所岡南			1												4	(兼1)					5
	ケアハウス岡南	(兼1)	1		(兼1)			1					(兼1)		2							4
せ っ た や の 郷	デイサービスセンターせったや	(兼1)		1	1	(兼2)	1	(兼1)	1	1	(兼2)	(兼1)	4	2	3						3	17
	グループホームせったや			1				(兼1)					6		1	(兼1)						8
計		3	3	5	4	0	5	2	8	3	0	1	65	5	15	5	5	0	0	2	20	151

正職員	98
臨時職員	9
パート職員	44
計	151

8. 職員採用退職状況

令和7年3月31日 現在

職 種			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
看護職員	正職員	採用	1					1							2
		臨→正登用													0
		退職			1			1							2
	臨時	採用													0
		退職													0
	パート	採用													0
機能訓練指導員	正職員	採用													0
		臨→正登用			1										1
		退職													0
	パート	採用													0
		退職													0
															0
生活相談員	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職													0
	臨時	採用													0
		退職													0
															0
介護職員	正職員	採用	4												4
		臨→正登用				2									2
		退職			1			1						1	3
	臨時	採用													0
		退職													0
	パート	採用													0
介護支援専門員	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職													0
	臨時	採用													0
		退職													0
															0
事務員 栄養士	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職													0
	パート	採用													0
		退職													0
															0
その他	パート 嘱託	採用				1				1		1		1	4
		退職										1	1	3	5
計	採用		5	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	10
	退職		0	0	4	0	0	3	0	0	0	1	1	5	14
	差引計		5	0	-4	1	0	-2	0	1	0	0	-1	-4	-4
	正職員へ登用		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡南の郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷

1 利用状況

(1) 月別入退所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所	男	0	1	1	3	1	1	1	0	1	0	0	0	9	0.75
	女	3	1	2	2	2	2	5	3	1	0	1	2	24	2.00
退所	男	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	5	0.41
	女	3	2	4	2	3	5	2	3	1	1	0	1	27	2.25
月末入所者数		80	80	78	81	81	78	82	81	82	81	82	81	967	80.58

(2) 介護度別入所者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R7.3.31	0	0	9	36	36	81	4.33
%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%		
R6.3.31	0	0	9	34	37	80	4.35
R5.3.31	0	0	8	23	50	81	4.51

(3) 年齢別入所者

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R7.3.31	0	1	4	9	19	16	32	81	86.7 歳
%	0.0%	1.2%	4.9%	11.1%	23.5%	19.8%	39.5%		
R6.3.31	0	3	5	10	13	14	35	80	86.6 歳
R5.3.31	0	0	4	12	10	17	38	81	87.5 歳

2 重点施策

特養共通

(1) 介護報酬改定に伴う新たな加算の算定

介護報酬改定により新たに創設された加算のうち、生産性向上推進体制加算（Ⅱ）を算定した（10単位）。また、既設の加算から精神科医療養指導加算の算定を開始した（5単位）。さらに認知症チームケア推進加算の算定に向けての体制作りを始めしており、令和7年度中の算定を目指す。

(2) 平均稼働率向上と空床期間短縮の取り組み

平均稼働率 97.6%と目標を達成できたが、平均空床日数（退所翌日から入所前日）は 14.3 日と未達で、昨年度よりも約 2.5 日増加した。入所候補者の調査から判定までの期間と、主治医から紹介状を受領するまでに時間を要したことが原因として挙げられる。また、入所内定者から診療情報提供書を提出してもらう実績を作れなかったことも一因となった。紹介状作成に時間を要する医療機関については、入所内定時に診療情報提供書の提出を働きかけ、調査・判定・確認・内定・診療情報提供という一連の流れをスムーズに行うよう、生活相談員が中心となって改めて取り組む。

(3) 介護ロボット・ICTの活用

生産性向上推進体制加算の算定にあたり、定期的に介護現場の課題を話し合い、入浴業務の負担軽減に向けて機器のデモ導入を行った。業務手順や職員配置等の見直しで、入所者・職員共に負担軽減や時間短縮等が見込まれるため、本格導入に向けて準備を進めている。

また、介護・看護間で活用が進んでいるインカムによる業務連携について、介護生活相談室にも設置して連携強化を図った。

(4) ノーリフト介護の実践に向けた取り組み

長岡市産業イノベーション課との協働により開発中の移乗用介護リフトを複数台設置し、各階でより多くの使用機会を設けることができた。また、対象入所者や場面を限定することで、既存のスライディングボード等の使用も定着した。

12月に長岡市内で開催された福祉機器展で、多くの介護職員が様々な移乗支援機器に触れ、活用のイメージを持つことができた。次年度は介護全体でプロジェクトチームを発足し、移乗用介護リフトの導入に向けて具体的な機器選定等を行っていく。

(5) 新入職員指導と中堅職員の業務評価

新入職員 3 名に対してプリセプター制度による業務指導を行った。また、看護職員についても応用した指導体制を始めている。指導に携えることで自らの業務を振り返る機会となっており、今後も標準的な指導体制として継続していく。

中堅職員に対しては、アセッサー（評価者）が中心となって作成した業務評価表を用いて、各階 1 名ずつ計 2 名の介護職員の業務評価を行った。レベル認定には至っていないが、業務評価を継続していくことで業務の平準化を図る。

(6) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の類型変更以降も職員の基本的な感染症対策は継続し、施設内でのまん延防止に努めてきた。しかし、4月に3階6丁目、9月に2階ショートステイから2丁目と4丁目、2月に4丁目と、新型コロナウイルスがまん延する事態が発生した。いずれも発熱等の体調不良者への接触方法や職員の体調変化時の判断等、初動対応が課題として挙げられたため、BCPの周知や対応シミュレーション等を通してまん延防止対策を強化していく。

(7) 面会やボランティアの受け入れ

7月より予約制での居室面会を再開し、また、要望の多かった平日午後や日曜・祝日の面会枠を増やし、多くの家族等から利用があった。介護職員が家族等と直接話す

機会ができ、関係構築の場としている。施設内で感染症がまん延した際は面会を制限したが、理解を得られており、当面は現在の体制を継続していく。

施設内でのボランティアや小中学生の体験学習受け入れは見合わせているが、職員が小中学校の総合学習に出向き、高齢者疑似体験等の手伝いをする機会が増えている。長岡市社会福祉協議会からも協力依頼があり、要望に応じて積極的に活動していく。

(8) ハラスメント対策

職員に対して、ハラスメントが発生した際の相談フローチャートを周知し、また、ハラスメント加害者とならないよう啓発を行った。入所者家族等へは、契約書内の解約事項にハラスメント行為に関する内容を明示し、契約の取り直しを行った。

ハラスメントが多様化する中で、無意識に加害者になっていないか、被害を黙認していないか注意が必要であるため、今後も定期的な啓発を行い、組織として意識を高めていく。

(9) 外部研修への参加

研修ニーズに照らし合わせて外部研修への積極的な参加を勧め、37研修延べ57名の職員が研修に参加した。研修参加による知識や技術の向上だけでなく、他法人等の方々との交流や情報交換を図れるよう、集合研修への積極的な参加を勧めていく。

認知症チームケア推進加算の算定に必要な研修を1名が受講し、算定に向けて準備を行っている。認知症ケアに関する加算の算定には認知症介護実践リーダー研修修了者が必須であるため、安定して加算を算定できるよう研修修了者を増やしていく。

(10) 安全対策

① 事故・ヒヤリハット件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故報告	13	7	11	6	3	8	7	11	7	20	13	12	118
ヒヤリハット	18	18	26	21	24	10	34	30	34	30	24	27	296
計	31	25	37	27	27	18	41	41	41	50	37	39	414

② 事故内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	7	5	7	3	2	4	4	4	3	12	8	8	67
誤嚥・異食(誤飲)	4	0	1	1	0	1	0	1	2	3	1	0	14
誤薬・内服漏れ	0	0	0	2	0	0	1	2	0	2	2	1	10
経管栄養(抜去含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(痣の発見、深爪)	2	2	3	0	1	3	2	4	2	3	2	3	27
計	13	7	11	6	3	8	7	11	7	20	13	12	118

(11) フロア別

① 特養2階

眠りSCANとインカムを連動することで検知確認がスムーズになり、速やかな対応が可能となった。また、ヒヤリハット事案が発生した際には、インカムで勤務職員へ状況等を発信し、情報共有に努めた。前年度と比較してヒヤリハット報告が90件

増加し、事故報告が31件減少した。目標は達成できたが、事故原因が不確実なものが一定数あるため、発生状況に応じて眠りSCANeyeを活用して原因を明確にし、再発防止にも努めていく。

特養入所者と短期入所者の交流は、感染症のまん延防止により大規模な合同行事等はできなかったが、小規模でのカラオケや顔馴染み同士での個別な交流の機会を作った。今後も感染症との兼ね合いは続くが、交流の機会を設けていく。

3か月に1回のミーティング時に座学や事例検討を行い、より実践に活かせる認知症研修を行ってきた。また、事例検討から対応に苦慮するケースでは、オンラインで行う療養指導で専門医の助言を仰ぎ、対応に活かすことができた。研修体制を継続し、認知症ケアに強いチーム作りに取り組み、認知症チームケア加算の算定にも積極的に取り組んでいきたい。

月	行事名	行事内容
4月	観桜会	敷地内の桜を見ながら散歩をした。
5月	ヒマワリの種植え	プランターにヒマワリの種を植えて育てた。
6月	おやつ作り	プリンパフェを作り、おやつに喫食した。
7月	七夕会	七夕の飾り付けや記念撮影を行い、季節感を味わった。
8月	かき氷づくり	かき氷づくりを通して上肢の運動を行い、おやつに喫食した。
9月	敬老会	地域交流スペースでの表彰式とフロアでの祝宴を行い、敬老の日を祝った。
10月	秋祭り	縁日イベントやボランティア、職員神輿等の余興を楽しんだ。
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞を行い、楽しんだ。
12月	クリスマス・忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝膳や季節の和菓子の喫食を通して新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、邪気を払って健康を願った。
3月	ひな祭り	茶菓子を喫食して、ひな祭りを祝った。

② 特養3階

ノーリフト介護のワーキンググループが中心となって、スライドボードや介助グローブの活用を推進した。特に浴室での移乗に関しての不安やリスクの声が多かったため、ストレッチャーからベッドへの移乗をスライドボードの使用に完全移行した。また、長岡市から脱着式リフトをレンタルし、移乗用介護リフトに触れる機会を設けた。職員の意見として、今まではリフトの使用に関して否定的な意見が8～9割を占めていたが、数ヵ月間使用していく中で「時間はかかるが身体の負担は明らかに減った」

「1人で移乗ができるから業務効率が上がった」等の前向きな意見が増え、職員一人ひとりの意識改革に繋がった。今後も活動を継続し、ノーリフト介護の標準化を目指す。また、介護ロボットに関する情報収集も継続して行い、レンタル等を通じて実際に機器を使用していきたい。

年間を通して様々な外出の機会を設けてきた。その中でも、家族の協力を得て自宅への帰宅や買い物、外食等、利用者毎のニーズに沿った外出を企画できた。次年度以降も積極的に外出の機会を設けていくために、入所者と各居室担当職員が相談してニーズに沿った外出計画が立てられるよう働きかけ、実行しやすい環境を作っていく。

月	行事名	行事内容
4月	観桜会	新型コロナウイルスのまん延に伴い、中止した。
5月	バスハイク	花テラスへ外出し、季節を感じた。
6月	買い物ツアー	スーパーマーケットや100円ショップで買い物をした。
7月	七夕会	七夕の飾り付けや記念撮影を行い、季節感を味わった。
	作品づくり	文化祭に向けて作品づくりを行った(～10月)。
8月	スイカ割り	スイカ割りを楽しみ、おやつに喫食した。
9月	敬老会	地域交流スペースでの表彰式とフロアでの祝宴を行い、敬老の日を祝った。
	おやつ作り	タコの代わりに具材を入れた、たこ焼き風を作り、できたてを喫食した。
10月	秋祭り	縁日イベントやボランティア・職員神輿等の余興を楽しんだ。
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞を行い、楽しんだ。
	おやつ作り	ベビーカステラを作り、おやつに喫食した。
12月	忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝宴で新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、邪気を払って健康を願った。
3月	ひな祭り	ひな祭りにちなんだおやつバイキングを行い、喫食した。

③ 看護室

看護室体制の再構築にあたり、業務負担の大きかった早番職員を2名配置できるよう見直しを行い、業務負担の軽減を図るとともに効率化も並行して取り組んだ。その結果、看護職員が入浴業務にも携わる時間が増え、インカムの活用による連携強化と併せて、処置や爪切り等で入所者を極力待たせないよう配慮することができた。また、夜間オンコール代行サービスの導入により、夜間の拘束対応を原則廃止したことで、精神的な負担が軽減し、日中の業務の充実にも繋がっている。今後も入所者に提供する看護の質の向上のため業務改善に取り組んでいく。

1、2か月に1回看護ミーティングを開催し、課題の共有や業務改善に努めた。また、少人数でのミーティングも行い、個々に感じている悩みを相談しやすい環境を整えた。今後はケースカンファレンスを取り入れ、病状や状態像に応じた判断・対応基準を共有していく。

看護協会主催の研修に参加し、復命・伝達講習を行って知識や技術の向上に努めた。介護・看護で共通して入所者のケアに活かせるものは、内部研修として他職種にも伝達し、看護職発信でケアの質の向上に努める。

3 給食の状況

(1) 栄養量(1日当たり)

区分	エネルギー(Kcal)	タンパク質(g)	カルシウム(mg)	脂 質(g)
本施設の 基準提供栄養量	1,300	57	600	30
	1,500	66	600	35
	1,700	70	600	45

※3種類の栄養量の食事を用意し、入所者の身体状況に合わせた食事を提供している

(2) 療養食

項 目	腎臓食	糖尿食	脾臓食	潰瘍食	心臓病食
人 数	0	4	0	0	10

※複数の療養食に該当する場合あり

(3) 行事食状況

年月日	行事名	食事内容
5月5日	端午の節句	ふきご飯、鱈のねぎ味噌焼き、若竹煮、白和え、いちご
7月7日	七夕	七夕ちらし、夕顔の煮つけ、糸瓜の和え物、杏仁豆腐
9月16日	敬老会	醤油赤飯、刺身、海老と舞茸の天ぷら、卵豆腐、芋羊羹
10月6日	秋祭り	新米おにぎり、芋煮汁、のり和え、漬物、柿
12月11日	忘年会	ちらし寿司、茶碗蒸し、ほうれん草のごま和え、いちご練乳がけ
12月31日	年越し	鯛めし、そば入りすまし汁、新巻鮭、天ぷら、もやしと桜エビのさっと煮
1月1日	元旦	ちらし寿司、筑前煮、元旦口取、あんころ餅風デザート
1月16日	新年会	稲荷寿司、澄し汁、茶碗蒸し、お浸し、ほうじ茶プリン
2月3日	節分	ご飯、鰯のつみれ汁、ネギトロの山掛け、大豆とひじきのサラダ、水羊羹
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司、潮汁、かき揚げ、菜花の白和え、ひな祭り三色花ゼリー

② ショートステイ岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	412	431	423	438	430	304	451	428	422	407	276	437	4,859	404.9
令和5年度	399	409	415	433	458	423	420	421	411	408	375	425	4,997	416.4
令和4年度	416	422	416	443	435	405	425	325	397	433	401	414	4,932	411.0

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	13.73	13.90	14.10	14.13	13.87	10.13	14.55	14.27	13.61	13.13	9.86	14.10	13.3
令和5年度	13.30	13.20	13.80	14.00	14.80	14.10	13.50	14.00	13.30	13.20	12.90	13.70	13.7
令和4年度	13.87	13.61	13.87	14.29	14.03	13.50	13.71	10.83	12.81	13.97	14.32	13.35	13.5

③ 平均利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	7.49	7.18	7.83	7.96	8.11	6.76	7.27	7.64	7.96	7.98	7.67	8.74	7.7
令和5年度	8.67	8.02	7.98	8.02	7.90	7.98	8.75	7.80	8.56	8.16	7.81	7.87	8.1
令和4年度	8.16	8.79	8.67	9.43	8.70	8.80	8.85	8.55	8.63	9.21	8.35	8.63	8.7

④ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
要支援2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0.25
要介護1	8	7	9	8	7	6	8	9	8	8	4	8	90	7.50
要介護2	15	19	15	13	11	8	16	11	9	10	5	10	142	11.83
要介護3	15	14	13	12	12	12	15	13	12	12	12	10	152	12.66
要介護4	11	13	12	14	14	13	15	13	14	13	8	14	154	12.83
要介護5	5	6	5	8	9	6	8	10	10	8	7	7	89	7.41
計	55	60	54	55	53	45	62	56	53	51	36	50	630	52.50
平均介護度	2.81	2.86	2.79	3.01	3.13	3.11	2.98	3.07	3.16	3.05	3.25	3.04	3.01	

(2) 地域別利用状況

	六日市	十日町	阪之上	宮内	四郎丸	富曽亀	豊田	千手	川崎	栖吉	神田	その他	市外	計
令和6年度	15	13	0	34	4	3	2	2	1	2	0	17	1	94
令和5年度	13	16	1	33	2	1	4	4	2	2	0	17	1	96
令和4年度	21	8	0	32	1	3	2	3	0	0	0	21	0	91

2 重点施策

(1) 新たな加算算定に向けた取り組み

介護報酬改定により新たに創設された加算のうち、生産性向上推進体制加算（Ⅱ）を算定した（10単位）。今後も新設・既設を問わず、算定可能性のある加算については、必要な体制整備を行い、積極的に算定していく。

(2) 平均稼働率向上のための取り組み

平均稼働率120.7%、平均実利用者数52.5人/月と目標達成に至った。前年度より平均稼働率が3.4%低下したが、9月と2月の新型コロナウイルス感染症まん延による受け入れ停止が要因である。感染症のまん延が稼働に直結するため、予防策と同時に初動対応を徹底して防止に努めていく。

また、平均実利用者数は稼働率低下があったにもかかわらず1.2人/月増加しており、多い月では60名を超えることもあった。短期入所の利用ニーズは高いため、積極的に新規利用者を受け入れ、リピーターを増やして安定した実利用者数を確保していく。

(3) 新型コロナウイルス等の感染症対策

9月と2月に新型コロナウイルス感染症がまん延し、受け入れを停止したため稼働率に大きく影響した。特に9月は最初の有症状者が短期入所利用者であり、初動対応の重要性を実感することとなった。新型コロナウイルスは発症前の潜伏期間があり、期間の長短に個人差もあることからウイルスの持ち込み防止は難しいため、BCPに基づいた初動対応を徹底して拡げないよう対応していく。

また、職員には標準予防策の実施と体調不良時の受診・検査の徹底を促し、感染症を持ち込まない・拡げないよう注意喚起を継続する。

(4) 余暇活動の充実

今年度よりレクリエーション月間予定表を作成し、計画的に余暇時間にレクリエーションを実行できた。また、他施設のレクリエーションや余暇時間の活動を見学し、活かせるものは取り入れて活動の幅を拡げた。次年度は「できる」の3本柱をコンセプトとして、利用者の機能維持・向上、生活の質の向上に取り組んでいく。

(5) 短期入所利用者と特養入所者の交流

短期入所利用者と特養入所者の交流は、感染症のまん延防止により大規模な合同行事等はできなかったが、小規模でのカラオケや顔馴染み同士での個別な交流の機会を作ってきた。今後も感染症との兼ね合いは続くが、交流の機会を設けていく。

(6) ハラスメント対策

男性利用者から女性職員に対して、不快な発言やボディタッチ等、性的ハラスメントに該当すると思われる事案が発生した際には、男性職員から言動に対する注意と今後の利用について説明を行い、当該行為を収めた。特に男性利用者から女性職員に対する不適切な言動が見受けられる傾向があり、男性利用者の増加に伴い、その対応が課題となっている。ハラスメントを受けた職員が一人で抱え込まないように、個人対応ではなく組織全体で情報を共有し、チームとして迅速かつ適切に対応できる体制作りを努めていく。当該行為が確認された場合には、必ず記録として残すとともに、必要

に応じて家族や介護支援専門員等、関係者への適切な情報提供を徹底していく。

(7) サービス計画書の作成と定期ミーティングの開催

担当介護支援専門員が作成する居宅サービス計画書を基に、利用中の様子や本人・家族等のニーズを踏まえて月1回のミーティングで協議し、個別性のあるサービス計画書の作成に努めた。法人外の在宅介護サービス利用者については、サービス利用中の情報を得る機会がサービス担当者会議等限定的であり、情報収集不足となった。今後は介護職員が送迎に携る機会を増やし、家族等とのコミュニケーションと関係構築を図る。その中で在宅での様子やニーズ等の情報収集を積極的に行い、サービス計画書に反映させていく。

ミーティングで話し合った内容は、議事録の回覧や情報共有ノート等を活用して担当職員以外にも周知を図り、共通認識の下でケアを提供できた。

<事故報告状況>

発生状況 \ 発生場所	フロア	居室	トイレ	浴室	計
転倒・転落	12	8	0	0	20
誤薬等	4	2	0	0	6
異食	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	0	0	1	1
その他	1	2	0	1	4
計	17	12	0	2	31

利用者のADLや危険認知力の低下に伴い、転倒・転落事故が全報告の6割近くを占めた。また、フロアの死角になりやすいところや目の届きにくい居室内での事故が多く、眠りSCANやセンサーマット等の見守り機器を用いて行動確認や受傷予防を行うケースも増えてきている。利用者の状態変化を家族や担当介護支援専門員と共有し、事故発生リスクに理解を得ながら、事故防止・受傷予防に努めていく。

③ デイサービスセンター岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	571	645	603	629	639	632	637	604	638	573	541	649	7,361	613.41
令和5年度	575	599	604	618	590	605	656	604	611	556	577	613	7,208	600.66
令和4年度	642	621	599	585	571	557	592	483	539	596	571	578	6,934	577.83

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	19.00	20.80	20.10	20.30	20.60	21.10	20.50	20.10	20.60	18.50	19.30	20.90	20.15
令和5年度	19.20	19.30	20.10	19.90	19.00	20.20	21.20	20.10	19.70	17.90	19.90	19.80	19.69
令和4年度	21.40	20.00	20.00	18.90	18.40	18.60	19.10	16.10	17.40	19.20	20.40	18.60	19.00

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	1	1	1	2	2	2	2	3	2	1	1	1	19	1.58
要支援2	3	3	3	3	1	2	1	3	3	3	3	3	31	2.58
要介護1	17	15	15	17	18	15	16	14	14	11	11	13	176	14.66
要介護2	26	29	27	29	28	30	32	31	32	33	32	33	362	30.16
要介護3	20	24	25	24	25	24	23	21	24	25	25	23	283	23.58
要介護4	10	10	9	7	8	8	8	10	9	10	9	10	108	9.00
要介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.00
計	80	85	83	85	85	84	85	85	87	86	84	86	1,015	84.58
平均介護度	2.42	2.46	2.46	2.37	2.39	2.42	2.39	2.45	2.45	2.52	2.51	2.47	2.44	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和6年度	1,164	1,149	1,011	1,138	1,035	929	935	7,361	1,051.57
令和5年度	1,039	1,103	1,050	1,131	1,004	957	924	7,208	1,029.71
令和4年度	1,037	961	1,096	1,074	1,007	977	782	6,934	990.57

地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	富曽亀	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	その他	市外	計
令和6年度	33	17	24	3	2	0	1	0	0	0	0	6	0	86
令和5年度	39	26	16	2	0	0	1	0	0	0	0	11	0	95
令和4年度	39	26	18	0	3	0	1	0	0	0	0	15	0	102

2 重点施策

(1) 働きやすい・働きがいのある職場作り

業務の効率化及び職場環境の更なる向上を目的として、業務手順の見直しと属人化防止を図り、日々の業務負担を軽減した。また、報・連・相の徹底を推進し、職員間で情報共有をすることでサービスの質向上と事故防止にも繋がった。業務分担とワークライフバランスの見直しに着手して働きやすい環境作りを進め、さらに意見交換や定期的なミーティングにより職場の雰囲気作りができた。引き続き、職員一人ひとりが安心して業務に取り組める環境整備に努める。

(2) 財政基盤及び事業経営の強化・安定

居宅介護支援事業所や包括支援センターへ定期的に伺い、事業所の取り組み等について営業活動を行ったが、平均利用者数20.2名、稼働率69.5%、平均実利用者数84.6名、月の平均利用者数613.4名、年間新規利用者数43名で、目標数値の平均利用者数23.2名、稼働率80%の達成に至らなかった。年間を通じて利用者の体調不良や都合によるキャンセル、新型コロナウイルス、2月5・6日の大雪の影響も受け、利用者数が大幅に減少した。

次年度も定期的に各事業所を訪問し、岡南通信やSNS（インスタグラム）等を活用した可視化による営業活動を継続して行うことで、新規利用者の獲得を目指す。

(3) 自立支援・重度化防止・心身機能維持への取り組み

利用者一人ひとりのADLの維持・向上を目指し、機能訓練指導員が個別機能訓練計画を作成して評価・モニタリングを実施した。本人・家族の希望で自宅での入浴を継続される利用者には状態に応じて備品や設備を整え、安全管理に配慮し、新たに入浴介助加算（Ⅱ）の算定を開始した。

また、日々のバイタルチェックや健康状態の観察による重度化防止と体操やレクリエーション、創作・外出活動による心身機能・認知機能の維持に努めた。今後も自立支援、重度化防止に取り組んでいく。

(4) 事業継続に向けた取り組みの強化

自然災害・感染症編のBCPの策定を行い、事業所内での机上訓練、備品チェック、シミュレーション研修を実施し、事業継続に向けた取り組みの強化に努めた。引き続き平常時から得られた気づきを反映し、その都度見直しを行うことで危機管理体制の構築を図る。

3 事故報告

発生状況	発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落		6		2		1	9
誤嚥・窒息・異食							0
薬関係		1					1
傷・表皮剥離・怪我		4	4				8
その他						2	2
計		11	4	2	0	3	20

※事故発生時に事故ミーティングを行い、要因を分析して事故防止対応策を職員間で共有した。また、毎月のミーティングで事故防止対応策の評価、再検討を行い、再発防止に努めた。

4 ヒヤリハット

発生状況	発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
移動・起居動作・移乗		3	2		1	4	10
杖・歩行器の不使用		3					3
バイタル測定							0
食事・水分・服薬		6			1		7
送迎						3	3
その他		2	4				6
計		14	6	0	2	7	29

※食事・水分・服薬に関する事例を含む多くのヒヤリハットが報告された。報告された事例を職員全員で共有し、事故発生を未然に防ぐ取り組みに役立てた。

5 行事

月	日	行事名	内容
4月	14～20	お花見	施設敷地内の桜や花等を鑑賞した。
5月	24	フラワーアレンジメント	フラワーアレンジメント活動を通じ、楽しみや交流が図れた。
6月	10.17.24	バスハイク(花テラス)	長岡市緑化センター花テラスへ出掛け、花の鑑賞した。
7月	25	保育園児との交流	摂田屋保育園児との交流が図れ、楽しい時間を過ごせた。
8月	27	夏祭り	縁日で園児達と魚釣りやストラックアウトゲームを楽しんだ。
9月	16	敬老会	喜寿、米寿、卒寿、百寿の利用者を発表し、祝い膳を提供した。
10月	6	秋祭り	法人の秋祭りと並行し、室内や外での祭りを楽しんだ。
	9.10.16.22	保育園児との交流	摂田屋保育園児との交流が図れ、楽しい時間を過ごせた。
11月	2	文化祭	音楽鑑賞や施設で育てたサツマイモを使用した焼き芋を提供した。
12月	11	忘年会	屋台ボランティアを招き、大判焼きを提供。カラオケの余興を楽しんだ。
1月	17	新年会	新年の祝い膳を提供し、獅子舞やおみくじ等の余興を楽しんだ。
2月	23	デザートバイキング	ケーキや和洋菓子を提供。記念撮影を行い利用者へ渡した。
3月	13	フラワーアレンジメント	フラワーアレンジメント活動を通じ、楽しみや交流が図れた。

※新型コロナウイルス、その他感染症等の状況を確認しながら行事を行った。

④ グループホームこうなん

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4	0.33
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4	0.33
月末入居者数		17	17	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18	213	17.75
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
通所利用		14	9	9	10	13	7	6	13	12	10	10	14	127	10.58

※ 通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 127回

※ 短期利用サービス(ショートステイ) 利用日数合計 0日

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R7.3.31	2	6	6	3	1	18	2.72
%	11.1%	33.3%	33.3%	16.7%	5.6%		
R6.3.31	3	4	10	1	0	18	2.50
R5.3.31	4	7	5	1	1	18	2.33

※ 昨年度と比較して平均介護度が上がり、また利用者のレベル低下も進んでいる。

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R7.3.31	0	0	1	1	2	5	9	18	88.4 歳
%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	11.1%	27.8%	50.0%		
R6.3.31	0	0	1	0	2	4	11	18	89.0 歳
R5.3.31	0	0	1	0	2	4	11	18	89.1 歳

2 重点施策

(1) 収益力向上への取り組み

空室期間の短縮を図るため、入居申込者の訪問調査を事前に行ってスムーズな入居に繋げ、入居率 97.6%と目標値の 97%を達成できた。

共用型の稼働率は9%にとどまり、目標値の25%を達成するには至らなかった。今後も居宅介護支援事業所等への積極的な営業活動や入居申込者へ共用型デイサービスの利用を勧め、新規利用者の獲得に努めていく。

また、新たに認知症チームケア推進加算、生産性向上推進体制加算を算定し、収益

力の向上と安定を図った。今後も職員間で情報共有をし、新たな加算の算定を目指していく。

(2) 利用者のニーズに合わせた個別支援の充実

数字合わせ、漢字合わせ等の脳トレーニング用品や利用者の状態に合わせた創作活動の機会を提供し、屋内での余暇活動を支援した。また、園芸活動や園内散歩で気分転換を図り、健康作りに繋げることができた。

(3) 地域との繋がりの強化

運営推進会議は年に6回（2か月に1回）開催し、地域住民の代表である委員から意見を伺うとともに、入居者の生活状況や施設の取り組みに関する情報を共有した。また、認知症に関する説明会も実施し、地域の方の理解促進を図った。今後も地域の一員として責務を果たし、地域社会への貢献に繋がる支援を継続していく。

施設行事として渡沢町と合同で開催していた納涼祭が開催されなかったため、地域住民との交流が限定的となってしまった。次年度の開催についてもまだ不透明ではあるが、開催するのであれば地域との交流の機会として活用していきたい。

(4) 家族との繋がり

母の日会が昨年度まで新型コロナウイルス感染予防のため家族が不参加だったが、従来通りの形に戻ったため、家族と入居者との交流の機会となった。母の日会では食事会や写真撮影、メッセージカードの記入をし、楽しい家族の時間を過ごせるよう努めた。敬老会も家族の参加を予定していたが、グループホームで新型コロナウイルスが発生したため、家族の参加は叶わなかった。

また、日々の生活の様子をまとめたお便りや行事写真等を家族に送り、利用者の近況報告を毎月行った。今後も家族と情報を共有し、利用者が安心して過ごせるよう連携を図っていく。

(5) 職員の資質向上

外部研修やオンライン研修の受講により職員の資質向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症発生時のBCPを策定して内部研修を実施することで、緊急時の備えについて学んだ。他にも夜間急変時のシミュレーション研修を看護師指導のもとで実施し、職員の知識や技術の向上に努めた。今後も研修やシミュレーション訓練を継続的に実施し、BCPの内容について理解を深める機会を設けるとともに職員の資質向上を目指していく。

(6) 働きやすい職場作り

職員への面談を通じて意見や要望を聴取し、雇用形態にかかわらず率直な意見が言いやすく、意思疎通の図りやすい職場作りに努めた。また、ミーティング等で業務の改善や効率化について話し合い、実践することで時間外労働の削減に努めた。今後も業務改善を行っていく中で有給休暇や時間有休の積極的な取得を進めてきたい。

(7) 非常災害時における対応と利用者の安全確保

夜間帯火災想定避難訓練に地域住民による自主防災会や消防職員が参加することで、避難誘導の手順や利用者の避難方法、自主防災会との連携の図り方を確認できた。

BCP研修については災害、感染症発生を想定して実施した。次年度以降も研修を

実施し、実際に非常災害が起こった時に職員が適切な動き、入居者の安全確保ができるよう努めていく。

3 事故報告・ヒヤリハット

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	0	1	15
ヒヤリハット	5	7	9	8	7	2	3	7	6	6	6	14	80
計	7	9	10	9	8	3	4	9	8	7	6	15	95

皮下出血等の受傷についてのヒヤリハット報告が最も多かった。今後も事故発生を未然に防げるよう、職員ミーティング等で対策について話し合う。

(2) 内容別事故報告件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落・尻もち	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	0	1	14
受傷(切り傷・裂傷・剥離・皮下出血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
行方不明(無断外出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	0	1	15

転倒・転落・尻もちの事故報告件数が最も多いため、今後もヒヤリハット報告の分析を行い、事故防止策を講じていくとともに、利用者の下肢筋力の維持や向上への取り組みを進める。

⑤ 居宅介護支援事業所岡南

1 居宅サービス計画数(国保連請求分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	158	155	154	149	151	149	154	152	150	147	138	141	1,798	149.8
(新規契約件数)	5	6	1	3	3	5	5	6	2	5	0	6	47	3.9
令和5年度	140	144	139	138	139	139	138	149	152	156	150	153	1,737	144.8
令和4年度	142	134	131	130	135	138	141	143	142	135	137	139	1,647	137.3

2 介護予防支援・くらし元気委託料請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	42	39	38	39	40	43	39	43	40	41	42	43	489	40.75
令和5年度	41	39	39	41	42	44	45	48	44	44	44	46	517	43.08
令和4年度	43	43	44	45	43	45	47	46	46	43	43	43	531	44.25

3 長岡市・魚沼市認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	8	6	5	6	5	5	5	8	6	15	8	8	85	7.08
令和5年度	15	13	10	3	5	9	7	6	6	10	12	6	102	8.50
令和4年度	13	9	13	9	10	8	9	9	10	15	13	9	127	10.58

4 重点施策

(1) 安定的な事業経営への取り組み

居宅サービス計画数(国保連請求分)が1,798件で昨年度実績より61件増加した。介護予防支援は28件減少したが、軽度利用者の状態が重度化したことや積極的な新規の受け入れにより、昨年度よりも実績を伸ばすことができた。今後も地域包括支援センターや病院等へ営業活動を行い、1件でも多くの新規受け入れに繋げる。

(2) 提供する居宅介護支援サービスの質の向上と人材育成への取り組み

利用者や家族の要望に応え、困難ケースにも柔軟に対応できるように積極的に外部研修や法定研修に参加し、主任介護支援専門員を増員することができた。また、他法人との事例検討会、地域包括支援センター主催の研修会に参加し、マネジメントの質の向上、情報収集の機会とした。引き続き個々の職員や事業所全体のレベルアップに向け、多岐にわたる研修会への参加、事例提供を行い、特定事業所加算(Ⅱ)を堅持していく。

(3) 地域社会との連携、地域貢献

利用者及びその家族との信頼関係を築くため、常に丁寧かつ迅速な対応を心がけてきた。特に、生活困窮、障がい、虐待など、より複雑で深刻な課題が見られるケースに対しては、関係機関や多職種と連携しながら、個別のニーズに的確に対応している。

今後も引き続き、地域に存在する社会資源やインフォーマルな支援サービスの活用及び情報収集に努め、住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう支援していく。

(4) 明るく働きやすい職場作り

事業所ミーティング、ケースの検討を通じて個々が抱える困難な事例、支援内容について意見交換や情報共有を行い、職員が一人で問題を抱え込まず気軽に相談できる環境作りに努めた。また、担当職員が不在の場合もサービスが滞り、利用者の生活に支障が出ないように職場内で協力して業務にあたった。今後も、積極的に意見を言える風通しの良い雰囲気作り、やりがいを感じられる職場環境を構築していく。

(5) 危機管理体制の強化

感染症や災害のBCPの研修、見直しを行ってきた。引き続き研修や非常時のシミュレーションを事業所内で実施する。利用者の生命、生活を守り、支援が滞ることのないように速やかに対応できる体制を整えていく。

⑥ ケアハウス岡南

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男													0	0.00
	女	2						1					1	4	1.33
退居	男	1						1						2	1.00
	女											1		1	1.00
月末入居者数		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	179	14.91

退居者は、グループホームへ入居 1 名、ケアハウスでの生活が困難なため病院へ入院とサービス付き高齢者住宅へ転居各 1 名となった。

(2) 介護度別入居者

介護度 基準日	自立	要支援		要介護				計
		1	2	1	2	3	4	
R7.3.31	3	2	0	3	5	2		15
%	20.0%	13.3%	0.0%	20.0%	33.3%	13.3%	0.0%	100%
R6.3.31	5	1	3	2	2	1		14
R5.3.31	5	1	1	2	3	3		15

平均介護度は高くなり、要介護 1～3 の入居者が全体の 66% となっている。

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R7.3.31	1		1	0	4	3	6	15	85.7 歳
%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	26.7%	20.0%	40.0%		
R6.3.31	1		1	1	4	3	4	14	86.1 歳
R5.3.31			1	1	4	4	5	15	84.9 歳

平均年齢は 0.4 歳下がったが、80 歳以上の入居者が全体の 8 割近くを占めている。

2 重点施策

(1) 入居者の生活の質(QOL)の向上

① 相談・助言

生活面や健康面の不安等の相談が増えたことから、今まで以上に入居者一人ひとりの生活状況、身体状況の把握に努め、助言を行った。また、必要に応じて家族・介護支援専門員とともに対応をした。

② 環境・生活

要介護状態の入居者が増えたことに伴い、介護と医療のサポートが必要な方が増加している。可能な限り自立した生活が送れるよう本人や家族、介護支援専門員とともに生活面の配慮や必要な在宅介護サービスの検討、環境整備を行った。また、毎月入居者との懇親会の場を設け、より快適に生活が送れるよう意見交換を行った。

③ 充実した余暇活動の提供

入居者同士の親睦を深め、楽しく過ごせる機会として創作活動、お菓子作りを計画し実施した。

④ 保健衛生・緊急・災害時対応

主治医による年1回の特定健診受診を勧め、疾病の早期発見、早期治療に努めた。定期的な体重・血圧測定や健康相談を行い、入居者の状態把握に努めた。

手洗い、うがい等の日々の感染予防対策を徹底することで新型コロナウイルスの感染は発生しなかった。

また、災害に備え、入居者が速やかに避難できるように日中・夜間想定避難訓練を行い、防災意識を高めた。

⑤ 介護予防対策

入居者にラジオ体操への参加を勧め、加齢に伴う身体機能低下の予防に努めた。また、健康教室を開催して、病気や認知症予防をテーマにした説明や健康増進の体操を行った。

行事や余暇・趣味活動への参加を促し、入居者間で馴染みの関係を築くことにより、健康の維持や刺激のある生活が送れるよう努めた。

⑥ 在宅福祉サービスの提供と情報交換

入居者の身体・精神状態に変化があった際は、入居者、家族等の意向を確認した上で、在宅福祉サービスの提供について主治医や担当介護支援専門員と情報交換を行い、適切なサービスの利用提供等、入居者の処遇改善に努めた。

(2) 入居者の確保、安定した事業運営への取り組み

新規入居者の確保のため、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所を中心に営業活動を行った。また、老人保健施設や病院等で入居対象となるニーズがあれば営業や訪問調査を行った。入居相談のあった際には丁寧に対応し、希望者には施設見学対応を行った。

急に退居となる方も多く、新規入居者を確保するため今後も地道な営業活動を継続していく。

(3) 職員の資質の向上

入居者の状況把握や対応の統一を図るため、連絡ノートや回覧文書を活用し情報の共有を徹底した。また、職員間で話し合いの場を設け、緊急時の介助方法、入居者の少しの変化でも気付けるよう医療・介護等の対応について意見交換を行った。

また、デイサービスで補助業務を行うことで職員個々に応じた介護技術の向上を図る機会を持った。

(4) 働きやすい職場作り

計画的な年次有給休暇の取得により、職員の生活の充実や気分転換に繋げることができた。日々の業務を行う中でより効率的に業務ができるよう職員間で適宜意見交換

を行い、働きやすい職場環境作りに努めた。

(5) BCP(事業継続計画)に沿った災害対策

災害や感染症発生等の有事を想定した訓練を実施するとともに法人内の他事業所や県・市と連携を取りながら非常時における業務遂行が可能となる危機管理体制の構築に努めた。

3 事故報告

発生場所 事故内容	浴室	居室	ホール	屋外	その他	合計
転倒	0	2	1	1	0	4
転落	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	0	2	1	1	0	4

事故報告の4件は入居者本人に起因するもの。

前年度との比較	事故の件数	事故者の人数
令和5年度	4 件	4 人

4 年間行事状況

月	日	行事名	行事内容
年間		文化祭作品作り	折り紙で「かぶと」、「金魚」等を製作し文化祭に出品した。
4	8	お花見	中庭で桜を鑑賞し、茶話会を楽しんだ。
5	23	お菓子作り	入居者と一緒におやきを作り、茶話会で提供した。
6	24	ミニ運動会	チーム対抗戦で玉入れ等の競技を行い入居者同士の親睦を深めた。
7	5	七夕	三食ゼリーと七夕飾りの前で写真撮影を行い季節を感じた。
8	26	ミニ納涼祭	シャーベット作りや「長岡甚句」「大花火音頭」の音楽を流し、お祭りの雰囲気を楽しんだ。
9	16	敬老会	行事食、記念品を提供し、スライドショーを観ながら食事を楽しんだ。
12	11	忘年会	行事食や余興、ビンゴゲームを行い楽しみながら1年を振り返った。
1	16	新年会	祝い膳の食事、手作りの「越後長岡郷土カルタ」を行い、新年を祝った。
2	5	節分祭	節分にちなんだレクリエーションや甘酒を振る舞い、無病息災を祈った。
2	17	お菓子作り	入居者と一緒にミルクわらび餅を作り、茶話会で提供した。
3	5	ひな祭り	入居者と一緒に茶饅頭を作って茶話会で提供し、記念撮影をした。

敬老会、忘年会、新年会は職員の企画した余興で盛り上がり、入居者から楽しんでいただけた。年間を通しての創作行事では入居者と共同で作品を仕上げる機会を設け、完成した作品を文化祭に出品し喜ばれた。

5 趣味活動・余暇活動

回 数	曜 日 等	内 容	
週 1 回	金曜	移動スーパー	移動スーパー「とくし丸」来訪により安心してゆったりと買い物ができた。
月 2 回	火曜	買い物	原信旭岡店で買い物をした。
	毎月1日	懇親会	入居者全員が参加し、入居者の意見・要望、職員・入居者間の連絡、ケアハウスの生活について話し合いを行った。
	月末	健康教室	認知症予防のための体操や健康に留意した教室を開催した。
	不定期	おやつ作り	季節を感じられるおやつを作り、茶話会を行った。
	月 末	身体測定	体重、血圧測定を行った。

健康教室では入居者に対し健康増進・認知症予防の講座や体操、脳トレ活動等を行った。

(2) せったやの郷

① デイサービスセンターせったや

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和6年度	500	530	511	533	510	508	538	504	526	505	434	512	6,111	509.25
令和5年度	527	562	548	514	539	540	536	525	514	470	463	518	6,256	521.33
令和4年度	583	625	583	549	528	562	581	547	455	431	474	527	6,445	537.08

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	16.7	19.6	20.4	19.7	18.9	20.3	19.9	19.4	20.2	19.4	18.1	19.7	19.35
令和5年度	17.6	18.1	18.3	16.6	17.4	18	17.3	17.5	16.6	16.2	16	16.7	17.19
令和4年度	19.4	20.2	19.4	17.7	17.0	18.7	18.7	18.2	15.7	14.4	16.9	17.0	17.77

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.00
要支援2	5	5	6	6	6	7	7	7	8	7	8	9	81	6.75
要介護1	13	11	10	10	10	11	10	10	10	11	10	11	127	10.58
要介護2	25	25	24	24	24	24	26	24	25	26	22	22	291	24.25
要介護3	8	9	8	7	6	5	5	6	6	6	6	6	78	6.50
要介護4	7	72	7	8	9	9	9	9	10	8	8	10	166	13.83
要介護5	2	2	2	4	3	3	3	4	3	2	1	0	29	2.41
計	62	126	59	61	60	61	62	62	64	62	57	60	796	66.33
平均介護度	2.27	3.24	2.35	2.47	2.44	2.40	2.41	2.49	2.46	2.32	2.31	2.30	2.53	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和6年度	1,110	1,070	992	906	931	1,077	46	6,132	876.00
令和5年度	956	969	980	887	909	863	622	6,186	883.71
令和4年度	1,026	915	1,041	955	1,056	840	612	6,445	920.71

(3) 地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	下々条	その他	市外	計
令和6年度	3	7	44	2	6	13	0	0	2	0	0	5	0	82
令和5年度	3	8	54	1	4	10	0	0	1	0	0	4	0	85
令和4年度	2	10	57	2	5	10	0	1	1	0	0	0	0	88

2 重点施策

(1) 収益の向上と財務基盤の安定

目標数値として平均利用者数20名／日、月間実利用者数75名、月延べ利用者数620名と設定し取り組んだが、実績では平均利用者数19.4名／日、月延べ利用者数平均509.3名と目標達成には至らなかった。令和3年度頃から日曜日の稼働が徐々に下がり、その後も極端に利用希望が増加しなかったため、7月から日曜日を休業する決断をした。日曜日の利用者を他の曜日に利用変更することで稼働は大きく落とさず、一方で稼働率の低い曜日に掛かっていた人件費や水道光熱費等を抑制できた。

また、新たに入浴介助加算（Ⅱ）を算定し始め、算定者は424回／年となった。

そのほか、デイサービスセンターせったやの周知を目的として、11月にInstagramのアカウントを開設した。

引き続き居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへの営業活動を定期的に行い、当施設の取り組み状況や空き情報、時代に合ったサービス提供ができることを伝え、新規利用者の獲得を目指す。

(2) BCP(事業継続計画)と継続的な感染症予防策の徹底

法人の行動指針と日々の標準予防策の順守に努めるとともに、利用者の体調確認、連絡帳や送迎時等に家族内での感染状況の確認も行った。感染者が確認された際は迅速に対応し、その結果年間を通して感染拡大を防げた。

また、作成したBCPを基に10月に机上訓練を実施し、内容を見直した。今後も訓練（シュミレーション）を行うことで実効性を高めていく。

(3) 個別機能訓練の質の向上と心身機能の維持

日曜日を休業としたが、個別機能訓練加算（Ⅰ）イ、（Ⅰ）ロの算定は1,737回／年となり、昨年度よりも493回／年増加した。理学療法士が一人ひとりの身体状態に合わせた機能訓練の提供に取り組み続けたことが、算定者が増加した要因となった。

また、令和6年度介護報酬改定により要支援者に対する運動器機能向上加算が基本報酬と一体化され、個別ではなく集団体操等でも対応可能となった。今後は、充実した内容の集団体操を検討し、身体機能の維持、重度化防止に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいく。

(4) 職員が安心して働きやすい職場作り

日々のコミュニケーションを大切にし意見交換しやすい職場作りに努めた。また、ミーティング等で業務内容の見直しや改善、効率化を図ることで時間外労働を削減した。そのほか、送迎支援システムを試したが導入には至らなかった。次年度以降も業務負担軽減に向けて検討していく。

3 事故報告

発生場所 事故内容	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	2	0	0	0	0	2
誤薬等	0	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	2
計	3	1	0	0	0	4

4 ヒヤリハット

発生場所 発生状況	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
入浴・検温	0	0	0	0	0	0
移動・転倒	3	1	1	3	2	10
食事・水分・服薬	7	0	0	0	0	7
送迎	0	0	0	0	4	4
その他	3	1	0	0	1	5
計	13	2	1	3	7	26

5 行事

月	行事名	行事内容
4月	お花見ドライブ	今宮公園や福島江をドライブ。また施設周辺を散歩して桜を観賞した。
5月	花壇作り・温泉(菖蒲湯)	中庭にサツマイモや花を植えた。季節に合った菖蒲湯入浴を行った。
6月	おやつバイキング	数種類の中から好きなケーキを選んで喫食した。
7月	七夕会・調理レク	短冊作りと、作った寒天にフルーツ、アイスクリームをトッピングして喫食。
8月	せったや祭り	プロジェクターで長岡花火鑑賞。ヨーヨー釣りなどで季節を感じた。
9月	敬老会	祝い膳や記念品贈呈、写真撮影を行い、長寿のお祝いをした。
10月	スイートポテト作り・温泉(生姜湯)	春に植えたサツマイモを収穫してスイートポテトを作った。
11月	文化祭・おやつバイキング	施設内での作品展示。おやつバイキングでは好きなドーナツを選んで喫食。
12月	忘年会・クリスマス会	クリスマス会ではクリスマスケーキ、忘年会では祝い膳を提供。1年間の利用者の活動や風景をスライドショーにて上映し楽しんだ。
1月	新年会・おやつ作り・温泉(松湯)	新年会で祝い膳提供の他、紅白豆腐白玉ぜんざい作り、松湯入浴をした。
2月	節分会・バレンタインデー	節分会では豆まきを行って邪気を払い季節を感じた。バレンタイン行事では、フォンダンショコラを作った。
3月	ひな祭り・おやつ作り	雛人形作り、顔パネル写真撮影を行い、雛あられやミニカステラを提供した。おやつ作りではバームクーヘンにトッピングをして喫食した。

② グループホームせったや

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.16
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.08
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
月末入居者数		9	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	9	107	8.91
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
通所利用		14	15	12	14	13	13	12	0	0	0	0	0	93	7.75

※通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 93回

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R7.3.31	0	3	5	0	1	9	2.88
%	0.0%	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%		
R6.3.31	0	3	5	0	1	9	2.88
R5.3.31	1	3	4	0	1	9	2.66

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R7.3.31	0	0	0	1	2	3	3	9	86.8 歳
%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%		
R6.3.31	0	0	0	1	2	3	3	9	86.3 歳
R5.3.31	0	0	1	0	2	5	1	9	83.6 歳

2 重点施策

(1) いつまでも元気で張り合いのある生活の提供

利用者一人ひとりの性格に合わせて家事仕事を中心とした役割を提供し、充実した時間を過ごせるよう支援した。また、お花見や外食ツアー等の行事や日々のレクリエーション活動の機会を設け、喜ぶ様子がうかがえた。

(2) 安定した収入確保への取り組み

入退居が各2名と年間を通じて入院する利用者が少なかったため、入居率は99.1%と目標値を上回った。一方で共用型デイサービスは稼働率11.8%と目標値に届かなかった。

令和6年度介護報酬改定に伴い、生産性向上推進体制加算、認知症チームケア推進加算の算定を開始した。また、居住費の見直しを行い収入確保に努めた。

(3) 地域との結び付きの強化

対面方式での運営推進会議を開催し、地域代表から意見を聴取した。また、職員が近隣の小学校を訪問して介護についての出前授業を行った。そのほか、施設に小学生を招き、楽器演奏やゲームを通して交流を図ることができた。

(4) 家族との交流、結び付きの強化

新型コロナウイルス感染症の5類移行や感染状況の落ち着きに伴い、家族参加行事を再開して交流の場を設けた。また運営推進会議への家族参加や家族対応の受診の際には、家族とコミュニケーションを図ることで結び付き強化に努めた。

(5) 職員が働きやすい環境作り

職員から希望や課題を聴き取り、その内容に応じた研修を受けることで得られた知識を業務に取り入れ、意欲の向上に繋げた。職員個々の多様性を受け入れ、業務における得意分野を伸ばして不得意分野を減らし、また、看護師による緊急時の対応研修を開催するなどして職員個人やチームとしての資質向上に努めた。

(6) BCP(業務継続計画)の作成と危機管理体制の強化

感染症や大規模自然災害、原子力災害等の発生時の対応のため、BCPを活用した訓練を実施した。2月下旬から3月上旬にかけて利用者4名、職員1名が新型コロナウイルス陽性となりBCPを実践した。感染終息後、一連の対応の振り返りを行いBCP行動手順に反映した。

防災訓練は日中と夜間の火災を想定して実施した。また、水害・土砂災害を想定した避難訓練をデイサービスせったやと共同で実施し、職員の動きを確認することができた。

3 事故・ヒヤリハット報告

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	1	2	1	5	1	0	1	3	0	1	1	1	17
ヒヤリハット	3	1	4	0	2	2	1	1	1	2	2	4	23
計	4	3	5	5	3	2	2	4	1	3	3	5	40

(2) 事故報告発生内容

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	0	0	2	1	0	1	2	0	0	1	0	8
行方不明(無断外出含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
異食	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4
計	1	2	1	5	1	0	1	3	0	1	1	1	17

第3 苦情受付状況

1 事業所別苦情受付件数

事業所名		件数
本部		0
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷	0
	ショートステイ岡南	2
	デイサービスセンター岡南	0
	グループホームこうなん	0
	居宅介護支援事業所岡南	0
	ケアハウス岡南	0
	小計	2
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	0
	グループホームせったや	0
	小計	0
合計		2

2 苦情申出人の要望（複数回答有）

要望	件数
話を聞いてほしい	0
教えてほしい	1
回答がほしい	1
調査してほしい	0
改めてほしい	0
その他	1
計	3

3 苦情申出人より第三者委員への報告

報告	件数
必要あり	0
必要なし	2
計	2

4 苦情内容と発生原因

苦情内容	発生原因
書類内容の記載間違いについて	職員の確認不足
事故後のケア内容について	施設内での事故によるケガ

5 今後に向けて

苦情の発生原因は、職員の確認不足などが挙げられる。苦情の申出があったときは、事実関係を確認した上で説明・謝罪等を行い、迅速な対応に努めた。同様のことを繰り返さないために、当該事業所に限らず法人内において注意喚起を行った。

苦情再発防止のため、管理監督者が職員への指導・教育を徹底するとともに、研修に積極的に参加し、接遇マナーや技術の向上を図る。また、各事業所で実施しているミーティング等で事例や予防策についての情報共有を徹底し、苦情ゼロを目指す。

第4 研修の状況

1 階層別研修

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
4月11日	4月24日	令和6年度短期専門講習 「マナー・接遇についての研修 ～人と信頼関係を結ぶときに心がけておきたいこと～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	4	特養
4月11日	4月24日	令和6年度短期専門講習 「マナー・接遇についての研修 ～人と信頼関係を結ぶときに心がけておきたいこと～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	GHせったや
5月1日	5月31日	認知症チームケア推進研修	認知症介護研究・研修セン ター	Web研修	4	GHこうなん
5月1日	5月31日	認知症チームケア推進研修	認知症介護研究・研修セン ター	Web研修	1	GHせったや
5月10日	5月23日	令和6年度短期専門講習 「体に負担をかけない移動・移乗技術と介護事故防止対 策」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	3	特養
5月28日		エルダー研修	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
6月7日	8月6日	令和6年度第1回新潟県認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	長岡三古老人福祉会 研究・研修センター長岡	1	GHこうなん
6月12日	8月30日	令和6年度第2回新潟県認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	上越老人福祉協会 はさ木研修センター	1	特養
6月27日		第1ブロック部会平成6年度第1回研修会 「ハラスメントについて考えよう！」	(一社)新潟県老人福祉施設 協議会	Web研修	1	特養
7月3日		苦情受付担当者のための苦情解決能力向上研修	新潟県福祉サービス運営適 正化委員会	ハイブ長岡	1	特養
7月3日		苦情受付担当者のための苦情解決能力向上研修	新潟県福祉サービス運営適 正化委員会	ハイブ長岡	1	デイ岡南
7月3日		苦情受付担当者のための苦情解決能力向上研修	新潟県福祉サービス運営適 正化委員会	ハイブ長岡	1	デイせったや

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
7月5日	7月31日	認知症チームケア推進研修	認知症介護研究・研修センター	Web研修	1	特養
7月18日		より良い職場づくりのための業務改善研修 －新潟県委託研修－	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
7月19日		令和6年度高齢者虐待防止研修	新潟県	Web研修	1	GHこうなん
8月19日	10月8日	平成6年度新潟県認知症介護実践リーダー研修	新潟県高齢福祉保健課	長岡三古老人福祉会 研究・研修センター長岡	1	GHこうなん
8月27日	10月25日	平成6年度第4回新潟県認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	クロステン十日町	1	特養
9月3日		第28回新潟県老人福祉施設研究大会 「生産性向上新時代への介護の未来像～みんなで創るこ れからの介護の変革・挑戦～」	(一社)新潟県老人福祉施設 協議会	新潟ユニゾンプラザ	3	特養
9月10日		令和6年度「週休三日制普及促進セミナー」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	本部
9月27日		コンフリクトマネジメント研修 ～組織の成長を促す職員になるために～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	2	特養
9月30日		コーチング研修 ～教え方を考え、学ぶ～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
9月30日		コーチング研修 ～教え方を考え、学ぶ～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	GHせったや
10月2日		令和6年度短期専門講習 介護現場における「クレーム対応とキャリアプラン」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	居宅
10月7日		第61回衛生管理者研修会	(一社)新潟県労働衛生医学 協会	朱鷺メッセ	1	法人本部
10月7日		第61回衛生管理者研修会	(一社)新潟県労働衛生医学 協会	朱鷺メッセ	1	GHせったや
10月17日		5支部合同 事業者支援Webセミナー 「高齢者の権利とカスタマーハラスメント対応」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	居宅

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
10月17日		5支部合同 事業者支援Webセミナー 「高齢者の権利とカスタマーハラスメント対応」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	デイせったや
10月18日		令和6年度長岡市地域密着型サービス事業所管理者研修会	長岡市介護保険課	Web研修	1	GHこうなん
10月18日		令和6年度長岡市地域密着型サービス事業所管理者研修会	長岡市介護保険課	Web研修	1	GHせったや
10月30日		令和6年度管理者等研修会 「令和6年度介護報酬改定に伴う新たな加算取得に係るポイント」	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	デイ岡南
11月6日		令和6年度社会福祉推進事業 「社会福祉連携推進シンポジウム～社会福祉連携法人等の連携・協働の取組～」	厚生労働省	Web研修	1	ケアハウス
3月12日		厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業「介護現場における生産性向上推進フォーラム」	厚生労働省	Web研修	4	特養
小計		32			46	

2 職種別専門研修

(1) 看護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
6月6日	7月31日	2024年度日本看護協会オンデマンド研修 ①看護に生かす褥瘡予防の基本 ②誤嚥性肺炎を予防する口腔ケア	日本看護協会	Web研修	1	特養
7月31日		令和6年度新潟県内看護職員対象キャリアアップ支援研修 「褥瘡ケア研修 ベーシックコース」	新潟大学医歯学総合病院看護部	医療人育成センター	1	特養
8月9日	9月30日	2024年度日本看護協会オンデマンド研修 感染予防・対策の基本	日本看護協会	Web研修	1	特養
9月13日		令和6年度新潟県・新潟市病院以外の看護師向け認知症対応力向上研修	新潟県高齢福祉保健課 新潟市地域包括ケア推進課	Web研修	1	特養
10月1日	11月30日	2024年度日本看護協会オンデマンド研修 ①感染予防の基本2023 ②誤嚥を予防する食事介助の基本	日本看護協会	Web研修	1	特養
11月27日		令和6年度新潟県内看護職員対象キャリアアップ支援研修 「褥瘡ケア研修 アドバンスコース」	新潟大学医歯学総合病院看護部	医療人育成センター	1	特養
小計		6			6	

(2) 機能訓練指導員・介護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
5月10日	5月23日	令和6年度短期専門講習 「体に負担をかけない移動・移乗技術と介護事故防止対策」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	2	ダイ岡南
5月23日		令和6年度第1回福祉関係者向け成年後見制度研修会	長岡市成年後見センター	長岡市社会福祉センタートモシア	1	GHこうなん
6月20日		令和6年度短期専門講習 「認知症ケア～認知症の『人』ととらえること～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
7月4日		介護記録の書き方研修 ～実務に活かす記録の書き方～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	3	特養
7月7日		介護職のためのアンガーマネジメント研修 ～感情をコントロールする～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養

7月11日	7月24日	令和6年度短期専門講習 「看取りケア 尊厳と生活支援」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	2	特養
7月19日		介護職のためのフィジカルアセスメント研修～介護現場 で活かすフィジカルアセスメント～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	GHせったや
8月29日		令和6年度短期専門講習 「介護現場における 口腔ケア」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター	1	GHせったや
9月11日	9月24日	令和6年度短期専門講習 「笑顔を増やし、機能回復につながるレクリエーション」～ 予防の目的は？～	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	2	特養
9月11日	9月24日	令和6年度短期専門講習 「笑顔を増やし、機能回復につながるレクリエーション」～ 予防の目的は？～	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	GHせったや
9月11日	9月24日	令和6年度短期専門講習 「笑顔を増やし、機能回復につながるレクリエーション」～ 予防の目的は？～	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	デイせったや
10月2日	12月20日	令和6年度第5回新潟県認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	Web研修 ※10/30のみ 上越老人福祉会	1	特養
10月11日	10月24日	令和6年度短期専門講習 「介護のプロとして 認知症ケアで大切なこと」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	2	特養
11月11日		Dケアセミナー 「皮膚をまもる排泄ケアとは～続けたくなる根拠・簡便性と ともに～」	白十字	Web研修	2	特養
11月12日	11月25日	令和6年度短期専門講習 「虐待防止と身体拘束防止～目指すケアのあり方とココロ のコントロール～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	2	特養
12月6日		看取りケア研修 ～利用者・家族に寄り添うために～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
12月11日	12月24日	令和6年度短期専門講習 「ICT導入の基礎～令和6年度改正(DX元年)今すぐ取 り組まねばならないDXとは～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	GHせったや
12月12日		令和6年度短期専門講習 「コミュニケーション研修～ご利用者やご家族と良い関係 を築くために～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	特養
12月12日		令和6年度短期専門講習 「コミュニケーション研修～ご利用者やご家族と良い関係 を築くために～」	(公財)介護労働安定セン ター新潟支部	Web研修	1	デイせったや
12月13日		ストレスマネジメント研修	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
2月1日	2月28日	令和6年度新潟県認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台 センター	Web研修	1	特養

2月12日	2月21日	介護事業者のための業務継続計画(BCP)策定後の研修及び訓練に関するオンデマンドセミナー	厚生労働省委託事業 (株)エーフォース	Web研修	1	GHこうなん
2月13日	2月26日	令和6年度短期専門講習 「介護現場のハラスメントゼロへ～安心したケアの提供を目指す!!ご利用者・ご家族にどう対応したら良いか～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	2	特養
3月11日	3月24日	令和6年度短期専門講習 「組織を守るリスクマネジメント～リスクによる損失とその対策～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
小計		24			33	

(3) 介護支援専門員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
4月5日	6月5日	令和6年度新潟県主任介護支援専門員更新研修	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	居宅
6月3日	6月30日	令和6年度認定調査員新規研修	新潟県	Web研修	1	特養
6月20日		令和6年度短期専門講習 「認知症ケア～認知症の『人』ととらえること～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	2	居宅
7月11日	7月24日	令和6年度短期専門講習 「看取りケア 尊厳と生活支援」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	居宅
7月13日		令和6年度第1回定期研修会 「意思決定支援、ケアマネのあなたはどのように取り組んでいますか?」～長岡市のACP取り組みと現状を知り共に考え	長岡地域介護支援専門員協議会	栃尾地域交流拠点施設(トチオーレ)	3	居宅
7月26日		令和6年度 災害対応研修 「BCP(事業継続計画)を地域で、どう活かすか」	(一社)新潟県介護支援専門員協会	新潟ユニゾンプラザ	1	居宅
8月9日	10月8日	令和6年度新潟県主任介護支援専門員研修	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	居宅
9月17日		令和6年度長岡市居宅介護支援事業所・地域密着型サービス事業所合同介護支援専門員研修会	長岡市介護保険課	アオーレ長岡	1	居宅
9月24日		令和6年度認知症地域フォーラムin長岡	長岡市長寿はつらつ課	長岡リリックホール	2	居宅
10月11日		他法人研修会	居宅介護支援事業所 ツクイ長岡三和	居宅介護支援事業所 ツクイ長岡三和	4	居宅

10月22日	11月13日	令和6年度 新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」(専門研修課程Ⅱ)	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	GHこうなん
11月6日	12月6日	令和6年度第3回研究セミナー「在宅のケアマネジメントで行う家族支援の基本～事例と支援者の思考プロセスを通じて考えよう～」	(一社)長寿社会開発センター	Web研修	2	居宅
11月19日		令和6年度長岡地域高齢者等の「食」をサポートする体制整備事業 医療者・介護者向け支援セミナー「在宅療養者の食べる」	新潟県栄養士会長岡支部 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	さいわいプラザ	2	居宅
11月20日		令和6年度新潟県介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	居宅
11月22日		令和6年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業「支援者研修会」	新潟県柏崎地域振興局健康福祉部 新潟県長岡地域振興局健康	新潟県柏崎地域振興局	3	居宅
12月12日		令和6年度短期専門講習 「コミュニケーション研修～ご利用者やご家族と良い関係を築くために～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	居宅
12月12日		令和6年度介護サービス研修会 「もしかして、ひきこもりの家族がいる？ ひきこもりの初期対応～家族にどう声かけする？～」	地域包括支援センターみやうち・やまこし	さいわいプラザ	1	居宅
12月18日		地域別多職種交流会 「高次脳機能障害の理解と支援時の対応について学ぶ」	長岡市地域包括支援センターみやうち・やまこし	高齢者センターみやうち	1	居宅
12月19日		令和6年度 施設介護支援専門員研修会	(一社)新潟県介護支援専門員協会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
1月11日		令和6年度第2回定期研修会 「事例検討会～その人らしい生き方を考える～」	長岡地域介護支援専門員協議会	長岡地域介護支援専門員協議会	1	居宅
1月14日	3月5日	令和6年度新潟県介護支援専門員「再研修・更新研修(実務未経験者)」	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	特養
1月14日	3月5日	令和6年度新潟県介護支援専門員「再研修・更新研修(実務未経験者)」	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	GHこうなん
1月14日	3月5日	令和6年度新潟県介護支援専門員「再研修・更新研修(実務未経験者)」	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	GHせったや
2月27日		令和6年度 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修会	長岡市介護保険課	長岡市立劇場	1	居宅
小計		24			35	

(4) 事務員 ・ 栄養士

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
2月13日		令和6年度特定給食施設(病院・高齢者入所施設)対象の衛生管理及び栄養管理に関する研修会	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	新潟県長岡地域振興局	1	法人本部
小計		1			1	
職種別専門研修 合計		55			75	
総合計		87			121	